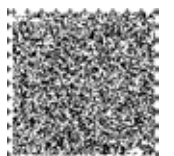


と やま けん しょう がい しゃ けい かく だい じ
富山県障害者計画（第5次）



れい わ ねん がつ
令和6年3月

と やま けん
富山県



計画の基本的な考え方

1 計画の趣旨

現計画期間の成果と課題、障害者の現状、国の障害者施策に加え、「元気とやま創造計画」、「富山県民福祉計画（第3次改定版）」や国の障害者基本計画（第5次）などを踏まえ、本県における障害者施策の一層の推進を図るため、その基本となる計画を策定するものです。

2 計画の性格・位置付け

- ① 障害者基本法に基づく富山県の障害者計画
- ② 市町村が市町村の障害者施策を推進するうえで、その基本的方向を示した計画
- ③ 障害のある人を含む県民、事業者、福祉団体等の協働指針となる計画
- ④ 「元気とやま創造計画」、「富山県民福祉基本計画（第3次改定版）」の個別計画
- ⑤ 障害者文化芸術推進法に基づく「障害者による文化芸術活動の推進に関する計画」
- ⑥ 読書バリアフリー法に基づく「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画」

3 計画の期間

2024年度～2029年度〔6年間〕

4 基本理念

地域の資源を活かしながら、住民相互が包括的に支え合うことにより、年齢や障害の有無等にかかわらず、誰もが安心・幸せを感じる“ウェルビーイング”を目指す「とやま型地域共生社会」の実現を目指します。

5 障害者の概念

身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む。）その他の心身の機能の障害がある者であって、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの。

6 基本的視点

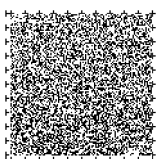
(1) 障害者本人の自己決定を尊重する

(2) 障害者等の自立した生活や意思決定を支援し、社会参加を促進する

(3) 障害者本位の総合的で切れ目のない横断的な支援を展開する

(4) 障害の特性に応じたきめ細かな支援を実施する

(5) ハード・ソフト両面にわたる社会のバリアフリー化を推進する



けい かく ない よう
計画の内容

が た ち い き き ょう せい し ゃ か い じ つ げ ん し ゃ か い き ば ん せい かつ か ん き ょう せい び
I とやま型地域共生社会を実現する社会基盤・生活環境の整備

- しょうがい およ しょうがい ひと たい り かい そく し ん
障害及び障害のある人に対する理解の促進
- さ べ つ かい しょう けん り よう ぎ す い し ん お よ ぎ ゃ く たい ぼう し
差別の解消、権利擁護の推進及び虐待の防止
- こ ん む に ケー シ ョ ン し え ん たい せい か く り つ
コミュニケーション支援体制の確立
- す せい かつ か ん き ょう せい び
住みよい生活環境の整備
- あ ん し ん く す い し ん
安心して暮らせるまちづくりの推進

し つ た か ほ け ん い り ょう たい せい か く り つ
II 質の高い保健・医療体制の確立

- ほ け ん い り ょう し さ く じ ゅ う じ つ
保健・医療施策の充実

こ こ お う しょうがい ふくし じゅうじつ
III 個々のニーズに応じた障害福祉サービスの充実

- そう だ ん し え ん たい せい せい び
相談支援体制の整備
- ち い き せい かつ し え ん しょうがい ふくし じゅうじつ
地域生活を支援する障害福祉サービスの充実
- しょうがい しゃ し せ つ せい び ほう こ う し せ つ き の う じ ゅ う じ つ か つ ぶ とう
障害者施設の整備の方向と施設機能の充実・活用
- し つ た か しょうがい ふくし てい き ょう
質の高い障害福祉サービスの提供

こ せい そん ち ょう し ゃ か い さ ん か そく し ん し え ん じ ゅ う じ つ
IV 個性を尊重し社会参加を促進する支援の充実

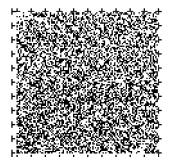
- しょうがい こ き ょう い く い せい じ ゅ う じ つ
障害のある子どもの教育・育成の充実
- こ じ ゅ う し ゅ う ろ う そく し ん
雇用・就労の促進
- し ゃ か い さ ん か か つ ぶ とう す い し ん
社会参加活動の推進

けい かく す い し ん たい せい
計画の推進体制

- しょうがい ほ け ん ふくし けん い き けん い き と や ま た か お か に い か わ と な み
障害保健福祉圏域 …… 4 圏域（富山、高岡、新川、砺波）
- し さ く す い し ん たい せい は ば ひ ろ ぶ ん や れ ん け い
施策の推進体制 …… 幅広い分野での連携
- けい かく し ん こ う か ん り くに し ち ょう そ ん しょうがい しゃ だ ん たい き ぎ ょう と う み ん か ん だ ん たい れ ん け い
計画の進行管理 …… 国・市町村、障害者団体、NPO・企業等民間団体との連携
- しょうがい しゃ し さ く す い し ん き ょう ぎ かい し ん ち ゃ く じ ゅ う き ょう とう て き ぎ ほう こ く
障害者施策推進協議会に進捗状況等を適宜報告

す ー ち も く ひ ょう
数値目標

だい じ けい かく れい わ ねん ども ま つ せい か くに せい ども かい せい じ ゅ う き ょう へ ん か
第4次計画における令和4年度末までの成果、国の制度改革や状況の変化
を踏まえ、2029年度（令和11年度）年度までの目標値（36指標）を
設定



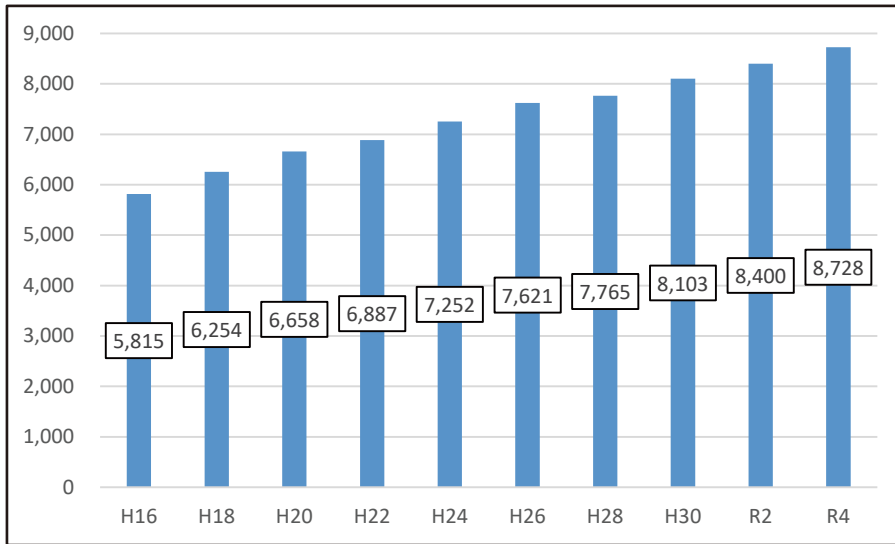
しょうがい ひと げんじょう
障 害 の ある 人 の 現 状

身体障害者手帳を所持している人は、令和5年3月末現在、43,297人となっています。平成16年度から増加の一途をたどり、平成25年度にピークを迎えましたが、平成26年度から減少に転じています。

しんたいしょうがいしゃ てちょう しょうじしゃ すう すい
身 体 障 害 者 手 帳 所 持 者 数 の 推 移

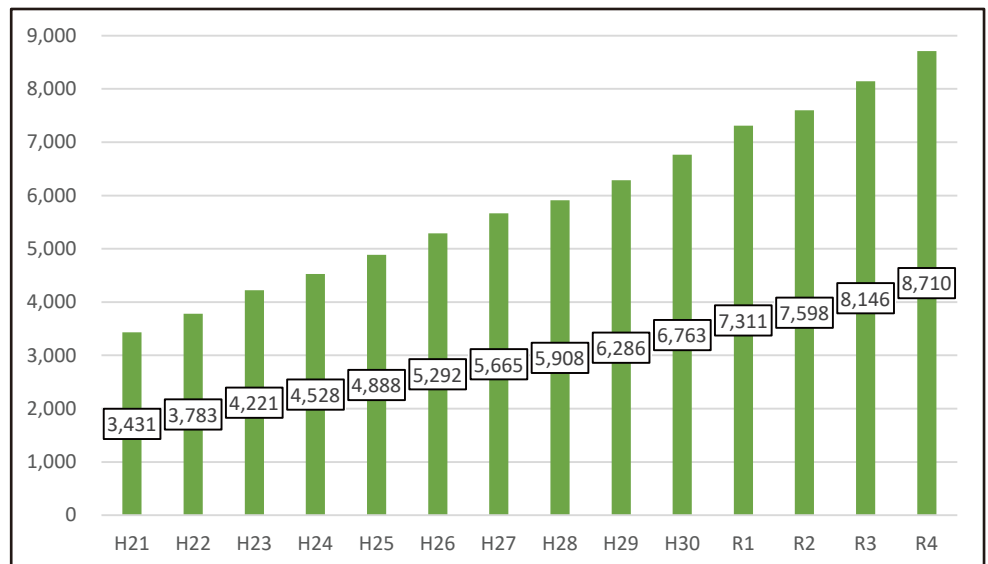


りょういくてちょう ちてき しょうがい しょうじしゃ すう すい
療 育 手 帳 (知 的 障 害) 所 持 者 数 の 推 移

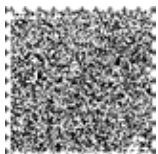


療育手帳を所持している人は、令和5年3月末現在、8,728人となっており、平成16年度からの18年間で2,913人(50.0%)増加しています。精神障害者保健福祉手帳を所持している人は、令和5年3月末現在、8,710人となっており、平成21年度の3,431人から約2.5倍に増加しています。

せいしんしょうがいしゃ ほけん ふくし てちょう しょうじしゃ すう すい
精 神 障 害 者 保 健 福 祉 手 帳 所 持 者 数 の 推 移



このほか、発達障害、高次脳機能障害、難病など多様な障害があります。また、高齢化や障害の重度化及び重複化、医療的ケアの必要性も増加しています。



I とやま型地域共生社会を実現する社会基盤・生活環境の整備

県民が相互に人格と個性を尊重し、年齢や障害の有無等にかかわらず、住み慣れた地域で安心して生活できる「とやま型地域共生社会」を実現するため、障害や障害のある人に対する理解や心のバリアフリーの促進、障害のある人が地域で安全に安心して暮らしていくことができる社会基盤や生活環境の整備に取り組みます。

1 障害及び障害のある人に対する理解の促進

- (1) 啓発・広報活動の推進
- (2) 福祉教育の推進
 - ① 学校における福祉教育の推進
 - ② 地域等における福祉教育の推進
- (3) 地域における交流の促進と県民の参加
 - ① 地域での交流の推進
 - ② 県民の参加と連携
- (4) ボランティア活動の推進

2 差別の解消、権利擁護の推進及び虐待の防止

- (1) 障害を理由とする差別の解消
- (2) 権利擁護の推進及び虐待の防止

3 コミュニケーション支援体制の確立

- (1) 情報のバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
- (2) 情報アクセシビリティの向上
 - ① 行政情報の提供
 - ② 選挙に対する配慮

③ 情報提供サービスの充実

④ 読書バリアフリーの推進

(3) 意思疎通支援の充実

- ① 多様な意思疎通支援の充実
- ② 手話の普及等の推進

4 住みよい生活環境の整備

- (1) 暮らしやすい住まいの整備
- (2) 人にやさしいまちづくりの整備
 - ① 福祉のまちづくりの計画的推進
 - ② 人にやさしい施設、公園等の整備
- (3) 利用しやすい交通、移動手段の整備
- (4) ユニバーサルデザインの普及

5 安心して暮らせるまちづくりの推進

- (1) 交通安全対策の充実
- (2) 防災対策の推進
- (3) 防犯対策の推進
- (4) 感染症対策の推進
- (5) 消費者トラブルの防止

II 質の高い保健・医療体制の充実

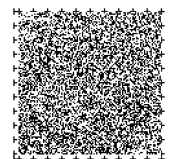
障害のある人が身近な地域で必要な医療やリハビリテーションを受けられるよう地域医療体制等の充実を図るとともに、障害の原因となる疾病の予防・治療、精神保健・医療体制の整備、保健・医療人材の育成・確保などを着実に進めます。

1 保健・医療施策の充実

- (1) 障害の原因となる疾病の予防・早期発見
 - ① 母子保健対策の推進
 - ② 成人保健対策の推進
- (2) 保健・医療体制の充実
 - ① 障害のある人に対する医療
 - ② 障害のある人に対する適切な保健サービス
 - ③ 専門職種の確保
- (3) リハビリテーション提供体制の充実

(4) 精神保健・医療施策の推進

- ① 心の健康づくり
- ② 精神医療の充実
- ③ 認知症施策の充実
- (5) 保健・医療を支える人材の育成・確保



こ こ おう しょうがい ふくし じゅうじつ
Ⅲ 個々のニーズに応じた障害福祉サービスの充実

しょうがい ひと ほんにん いし けつてい ちいき じりつ せいかつ いとな
 障害のある人が本人の意思決定のもと、地域で自立した生活を営むことができるよう、
 そうだん しえん たいせい しょうがい ひつよう ひつよう ばしょ ちいき じつじょう そく てきせつ
 相談支援体制や、障害のある人が必要なときに必要な場所で、地域の実情に即した適切な
 しえん しょうがい とくせい おう しつ たか ふくし う たいせい せいび すいしん
 支援や障害の特性に応じた質の高い福祉サービスを受けることができる体制の整備を推進
 します。

1 相談支援体制の整備

- (1) 自己決定の尊重及び意思決定の支援
- (2) 地域における相談支援体制の充実
 - ① 身近な相談支援の充実
 - ② 相談支援を行う人材育成
- (3) 専門的な相談支援体制の充実

2 地域生活を支援する障害福祉サービスの充実

- (1) 在宅サービス等の充実
 - ① 「共生型」地域生活支援の充実
 - ② 在宅サービスの充実
 - ③ 住居の確保
 - ④ 障害のある人の家族への支援
 - ⑤ 福祉機器・各種障害関係制度の普及促進等
- (2) 障害特性等への対応
 - ① 発達障害
 - ② 高次脳機能障害

③ 難病

④ その他の障害

3 障害者施設の整備の方向と施設機能の

充実・活用

- (1) 施設整備の基本的な考え方
- (2) 施設機能の充実と地域生活支援への活用

4 質の高い障害福祉サービスの提供

- (1) 障害福祉サービスの質の向上
 - ① 施設運営の適正化
 - ② 苦情解決機能の充実
 - ③ 第三者評価の実施促進
- (2) 障害福祉人材の育成・確保・定着
 - ① 障害福祉人材の養成確保
 - ② 施設等従事者の研修
 - ③ 「とやま福祉人材確保・応援プロジェクト」の推進

こ せい そんちよう しゃかい さんか そくしん しえん じゅうじつ
Ⅳ 個性を尊重し社会参加を促進する支援の充実

しょうがい こ ひとり ひとり じりつ しゃかい さんか じつげん めざ こべつ きょういくてき おう
 障害のある子ども一人一人の自立と社会参加の実現を目指し、個別の教育的ニーズに応
 じた切れ目のない一貫した教育や療育を行います。また、障害のある人が地域で質の高い
 き め いっかん きょういく りょういく おこな しょうがい ひと ちいき しつ たか
 自立した生活を営み、適性に応じて能力を十分に発揮することができるよう雇用・就労の
 じりつ せいかつ いとな てきせい おう のりよく じゅうぶん はつき こよう しゅうろう
 促進に取り組むとともに、自らの可能性を追求し、豊かな人生を送ることができるよう、
 そくしん と く みずかかのうせい ついきゅう ゆた じんせい おく こよう しゅうろう
 しょうがい つう がくしゅう かつどう げいじゆつ ぶんか どう した きかい じゅうじつ つと
 生涯を通じて、学習活動、スポーツや芸術・文化等に親しむ機会の充実に努めます。

1 障害のある子どもの教育・育成の充実

- (1) 地域療育体制の整備
 - ① 就学前からの支援体制の充実
 - ② 福祉施設等における療育機能の充実
- (2) インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進

(3) 一貫した教育相談体制の充実と生涯学習の推進

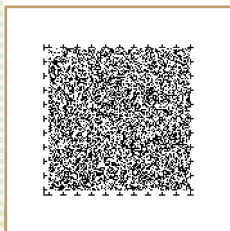
- ① 就学前からの教育支援体制の充実
- ② 生涯学習の推進

2 雇用・就労の促進

- (1) 障害者雇用の促進、就労支援
 - ① 職業能力の開発
 - ② 雇用の促進
 - ③ 総合的な就労支援
- (2) 一般就労が困難な障害者に対する支援の充実
 - ① 就労継続新事業所等の設置促進
 - ② 工賃向上の支援

3 社会参加活動の推進

- (1) スポーツ活動の振興
- (2) 文化芸術活動等の振興
- (3) 社会参加促進事業等の推進



けいかく かん しひょう すうち もくひょう
計画に関する指標と数値目標

がた ちいき きやうせい しゃかい じつげん しゃかい きばん せいかつ かんきやう せいび
I とやま型地域共生社会を実現する社会基盤・生活環境の整備

指標名	R4年度未現在	R11年度末目標値
障害のある人との交流や手助けをしたことのある人の割合（県政世論調査で5年ごとに調査）	74.1% (R5)	85%
富山型デイサービスの事業所数	119 箇所	180 箇所
障害のある人に対する差別があると思う人（「障害者差別があると思う」+「少しはあると思う」と答える人の割合）	74.8%	減少させる
県条例（障害者差別解消）に関する研修会の受講者数（累計）	7,182 人	14,182 人
障害者虐待・権利擁護研修受講者数（累計）	1,805 人	2,500 人
図書館職員等への読書バリアフリー関連講座や研修会の受講者数<累計>	22 人	150 人
県立図書館のアクセシブルな書籍等所蔵タイトル数	4,470 タイトル	5,900 タイトル
高齢者が居住する住宅のバリアフリー化率（一定のバリアフリー化率）	47.5% (H30)	72.0%
市街地ゆとり歩道の割合	80.2%	82.0%
低床バスの導入割合（民営乗合ノンステップバスの導入割合）	75.0% (R3)	80% 以上
身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の導入頭数	5 頭	10 頭
障害のある人と高齢者の安全性等に配慮したバリアフリー対応型信号機の整備基数（累計）	271 基	277 基
在宅障害（児）者を受け入れる避難スペースを有する事業所数（累計）	6 箇所	9 箇所

しつ たか ほけん いりよう たいせい じゆうじつ
II 質の高い保健・医療体制の充実

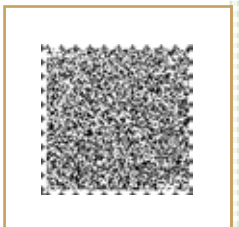
富山県アイバンクにおける眼球の提供希望者登録数（累計）	20,867 人	21,571 人
県内で実施された腎臓の移植件数（累計）	130 件	137 件
障害者・障害児入所施設での過去1年間の歯科健診実施率	67.74%	80%
精神障害者の地域移行に向けたアウトリーチ事業による支援対象者数（累計）	13 人	27 人
精神障害者の地域移行に向けたピア・フレンズ派遣登録者数（累計）	40 人	61 人

こ こ おう しょうがい ふくし じゆうじつ
III 個々のニーズに応じた障害福祉サービスの充実

相談支援専門員養成者数（累計）	1,239 人	1,642 人
ケアネット活動の取組地区数	266 地区	306 地区
共生型グループホーム数（累計）	6 箇所	9 箇所
重症心身障害児（者）の介護支援研修受講者数（累計）	260 人	400 人
放課後等デイサービス事業所数（累計）	138 箇所	204 箇所
重症心身障害児（者）の介護支援研修受講者数（累計）	260 人	400 人
ジョブコーチ養成数（累計）	75 人	96 人
ジョブコーチ支援終了者の職場定着率（6ヶ月後）	87.0%	現況以上
障害者の法定雇用率達成企業の割合	55.9%	現況以上
障害者の態様に応じた多様な委託訓練の就職率	65.2%	現況以上
特例子会社の設置数（累計）	6 箇所	8 箇所
障害者就業・生活支援センター登録者の就職件数	168 件	180 件
パラスポーツ指導員養成数（累計）	800 人	925 名

こせい そんちやう しゃかい さんか そくしん しえん じゆうじつ
IV 個性を尊重し社会参加を促進する支援の充実

指標名	R4年度未現在	R11年度末目標値
個別の教育支援計画の活用割合	(1) 95.7% (2) 94.1%	100%
放課後等デイサービス事業所数（累計）	138 箇所	204 箇所
重症心身障害児（者）の介護支援研修受講者数（累計）	260 人	400 人
ジョブコーチ養成数（累計）	75 人	96 人
ジョブコーチ支援終了者の職場定着率（6ヶ月後）	87.0%	現況以上
障害者の法定雇用率達成企業の割合	55.9%	現況以上
障害者の態様に応じた多様な委託訓練の就職率	65.2%	現況以上
特例子会社の設置数（累計）	6 箇所	8 箇所
障害者就業・生活支援センター登録者の就職件数	168 件	180 件
パラスポーツ指導員養成数（累計）	800 人	925 名

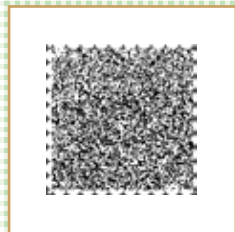




ひょうし え れいわ ねんど しょうがいしゃしゅうかん にゅうしょうさくひん
表紙の絵 (令和5年度「障害者週間のポスター」入賞作品)

表表紙 おもてひょうし	ひだり左	しょうがくせい ぶ 小学生の部 さいゆうしゅうしょう 最優秀賞	「みんなでいっしょにえがおのまち」 とやまだいがきょういくがくぶふぞくしょうがっこう ねん 富山大学教育学部附属小学校2年 よねだ かすみ 米田 佳純さん
	みぎ右	ちゅうがくせい ぶ 中学生の部 さいゆうしゅうしょう 最優秀賞	きょうぞん 「共存」 いみずしりつこすぎみなみちゅうがっこう ねん 射水市立小杉南中学校2年 はせがわ なな 長谷川 奈南さん
裏表紙 うらひょうし	ひだり左	ちゅうがくせい ぶ 中学生の部 ゆうしゅうしょう 優秀賞	「ヘルプマークを知っていますか？」 くろべしりつめいほうちゅうがっこう ねん 黒部市立明峰中学校1年 ひろせ あいじ 廣世 藍蒔さん
	みぎ右		「ゴールまで……。」 いみずしりつこすぎちゅうがっこう ねん 射水市立小杉中学校3年 やしま あすか 八嶋 明日香さん

※ よねだ さくひん ないかくふ しょうがいしゃしゅうかん しょうがくせいくぶん かさく じゅしょう
 米田さんの作品は、内閣府の「障害者週間のポスター」小学生区分で佳作を受賞
 されました。



◀このマークは、目の不自由な
 方などのための音声コード
 (Uni-Voice) です。スマート
 フォン (iOS/Android) で読み
 取り、記載内容を音声で聞く
 ことができます。(無料アプリ
 Uni-Voice をダウンロードして
 ご利用ください。)

とやまけんしょうがいしゃけいかく だい じ がいようばん
富山県障害者計画 (第5次) 《概要版》
 とやまけん こうせいぶ しょうがい ふくしか
 富山県厚生部障害福祉課
 とやましんそうがわ ばん ごう
 〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号 TEL 076-444-3211 / FAX 076-444-3494